

分野		科目名		配当年次		開講期			
専門基礎分野		解剖生理学Ⅰ～Ⅳ		1 年次		前・後期			
単位数		時間		担当教員		実務経験の有無			
4 単位 (120 時間)		Ⅰ 30 時間（前期）		大学 名誉教授		有			
		Ⅱ 30 時間（前期）		大学 名誉教授		有			
		Ⅲ 30 時間（前期）		大学 名誉教授		有			
		Ⅳ 30 時間（後期）		大学 名誉教授		有			
授業 の 概要		人体の発生、構成する単位（細胞、組織、器官系）を学び、その各機能や関連性をとらえ、全体を系統づけ、有機的に機能する人体を理解し、看護を行う根拠とする。							
到達 目標		1．人体を構築する組織をミクロ的およびマクロ的に学習して人体の解剖学的全体像を習得する。 2．人体が持つ組織の正常な生理学的機能を俯瞰する。 3．組織の正常機能から逸脱した病態を学習し、その知見を看護学が目指す指針とする。							
授業 計画		No.	授業内容			授業方法		備考	
		1	序論			講義		解剖Ⅰ	
		2	第1章 解剖生理学のための基礎知識			〃			
		3	第2章 栄養の消化と吸収 第3章 呼吸・血液のはたらき①			〃			
		4	第3章 呼吸・血液のはたらき②			〃		解剖Ⅱ	
		5	第4章 血液の循環とその調整 第5章 体液の調節と尿の生成			〃			
		6	第7章 身体の支持と運動①			〃			
		7	第7章 身体の支持と運動②			〃		解剖Ⅲ	
		8	第8章 情報の受容と処理			〃			
		9	第6章 内臓機能の調節			〃		解剖Ⅳ	
		10	第9章 身体機能の防御と適応			〃			
		11	第10章 生殖・発生と老化のしくみ			〃			
		12							
		13							
		14							
		15							
評価		各パート毎の筆記試験とスケッチ、小テスト、レポートの総合評価							
参考 文献		「解剖生理学」系統看護学講座：医学書院 「カラーアトラス 人体」解剖と機能：医学書院							
備考									